

平成30年度 高松小学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 十河 秀彰

和歌山市学校教育指針

- ・確かな学力の育成 ・道徳教育の充実
- ・健やかな体の育成 ・特別支援教育の充実
- ・不登校・いじめ問題の解消
- ・子供の安全確保の徹底
- ・地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- ・全教職員が、児童にとっての最善を目指し、教育目標の実現に力を合わせていただきたい。
- ・グランドデザインの目標に向かって努力し、自らの取組をもっとオープンにしていくことが大切。

【学 校 教 育 目 標】
 豊かな人間性と自ら学ぶ意欲を持ち、
 たくましく生きる子供を育成する

【めざす児童像】

- ・やさしい子 自分や友達によさに気づき、認め合える子供
- ・考える子 自分の考えと比べながら、人の話を聞く子供
- ・じょうぶな子 進んで元気よく仲間と遊ぶ子供

前年度の学校評価

学校全体にとっても活気があり、
 大多数の子供達が楽しく学べている。

児童の実態

素直でやさしく友達への思い
 やりがある。学力面では上位
 層が多いが、支援の必要な児
 童も各学級に在籍する。

重点目標

確かな学力の向上

◎心が揺り動く授業の希求

具体的な取組

- ・魅力ある単元構想とその単元で子供に身につけさせるべき力を明確化する。
- ・より深い思考への導く学習課題を追求し、学び合う教室の空気を創る。
- ・常学習「高松マスト」を充実させる。

指標

- ・全国学調質問紙アンケート「授業の内容はよくわかる」
- ・研究授業記録

豊かな心の育成

◎やわらかく豊かな「ことば」の環境の創造

- ・美しい言葉の音とリズムを味わう「音読」と「暗唱」に取り組む。
- ・「うちどく」を充実させ、生涯にわたる読書週間を形成する。
- ・自己肯定感につながるやわらかく心地よい、温かい言葉かけにより子どもの良さを認める。

- ・暗唱に取り組んだ児童数
- ・うちどく100冊認定児童数

健やかな体の育成

◎基本的な生活習慣の確立と体力向上の推進

- ・全児童一斉の縦割り遊びデーを設定し、戸外でのびのび活動する。
- ・きのくにチャレンジランキングを活用する。
- ・「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する。

- ・全国学調質問紙アンケート「早寝、早起き、朝ごはん」
- ・きのくにチャレンジランキングの取組

地域とともにある学校

◎地域・保護者とのあたたかい連携の充実

- ・読み聞かせグループや理科実験ボランティアなど先達先生の活動できる場を設定する。
- ・図書ボランティアの定期的な活動により、魅力ある学校図書館を創る。
- ・公民館フェスティバルや土曜フェスタなど、地域の生涯学習とつながり、地域とともに子どもを育てる。

- ・学校評価保護者アンケート
- ・コミュニティスクール委員評価

◎：特に重点的に取り組むこと